



## 『まちのモト』発行 10周年記念イベントが 開催されました

2019年、『まちのモト』発行10周年を記念してさまざまなイベントが行われました。札幌市図書・情報館の協力のもと、6月にはZINE(小冊子)をつくる特別ワークショップを2回開催。8月には「まちのモトからみえた中央区のモト」と題したトークイベントを開催し、『まちのモト』ゆかりの人々がトークに花を咲かせました。

2020年、『まちのモト』は11年目に突入。これからは中央区の「ひと」にフォーカスしながら、まちの魅力や取り組みを紹介していきます。どうぞご期待ください!

イベントの様子やまちのモトのバックナンバーはこちら ↓  
<http://www.city.sapporo.jp/chuo/machi/moto.html>



いろいろな人に  
会いたくて  
新しい場を切り拓く



●札幌オオドオリ大学  
<http://odori-univ.net/>  
<https://www.facebook.com/odori.univ>

●まちのこそだて研究所gurumi  
<http://machi-gurumi.com>

都心部の子育てを考える  
「まちのこそだて研究所  
gurumi」

札幌市立高等専門学校  
(現・札幌市立大学)の学生だった猪熊さん。「学校の中だけじゃつまらない。もっといろんな人に出会いたい!」と札幌圏の大学・専門学校に働きかけ、学校の枠を超えた表現活動の場を立ち上げました。「あの頃の仲間は今につながる財産になりました」と猪熊さんは懐かしそうに振り返ります。社会人になってしばらく経った頃、東京で生涯学習プログラムを提供していた「シブヤ大学」の札幌校をつくる話が持ち上がり、猪熊さんに学長就任のオファーが舞い込みました。「いろいろな人に出会いたい!」そう思った猪熊さん、ワークショップやプレ授業などを開催しながら準備を進め、2010年2月、ついに「札幌オオドオリ大学(ドリ大)」が開校しました。

まちをキャンパスに  
人がつながる  
「札幌オオドオリ大学」

あらゆる垣根を超えて仲間とつながり、新しい価値観に出会う喜び。それが猪熊さんを動かす原動力でありドリ大の面白さ。札幌のまちをキャンパスに、「ギャル」「車いす」「競馬」「銭湯」「漬物」など多種多彩な授業を繰り広げてきました。ドリ大で出会って結婚した人、生徒として参加したのち自ら先生になった人、ドリ大で得た人脈やスキルを仕事や地域活動に活かす人など、ドリ大はまちと人を結ぶさまざまな役割を果たしてきました。



ドリ大誕生から10年。2児の母になった猪熊さんに、新たな活動が加わりました。都心部で働くお母さん・お父さんの子育てをまちぐるみで考え・行動する「まちのこそだて研究所gurumi」。ワーキングママ仲間である札幌駅前通まちづくり株式会社の柴田未江さん、今村育子さんと一緒に企画を考え、勉強会やワークショップを開催しています。「活動を続けてきたからこそまちのあちこちに挨拶し合える人がいて、まちに居場所があると思える。それがすごくうれしい」と猪熊さん。ライフステージとともに活動の視点やスタイルは変わっても、猪熊さんの「人」への興味は尽きることはありません。

挨拶し合える人がいる。  
まちに居場所がある。  
だから活動を続けていく。

